

# 伝えたい 由布のもの NO. 10



〈取材・文〉  
岡田鹿乃子  
Kanakoko  
Okada

東京出身。進学・就職を経て2020年8月に由布市の地域おこし協力隊に着任。移住定住担当として活動しています。「伝えたい由布のもの」を取材し、記事を書くことはとても楽しい時間でした。これからは、由布市で暮らしながら地の力に触れていきたいです！

## ●問い合わせ

総合政策課

☎097-582-1158

## 伝えたい由布のものを集めたほおのき秋楽祭

今回の〈伝えたい由布のもの〉は地の力を感ずる由布のものです。庄内町に住む植木職人の堀伸太さん、地域おこし協力隊の中岡沙央里さん、同じく協力隊の岡田鹿乃子と朴木地区のみなさんと企画をしている〈伝えたい由布のものを集めたほおのき秋楽祭〉のご紹介です。

これまで、9回にわたって〈伝えたい由布のもの〉について記事を書かかせていただきました。昨年8月に東京から移住してきて知った由布市の自然や人、手仕事など地の力がすばらしく、そうしたことを知る度に私の中だけに留めておくのはもったいないという想いが生まれ記事を書いてきました。自分で見つけた由布のもの、地域のみなさんから教えていただいた由布のもの、さまざまな由布市の魅力を知ることができました。これからもまだまだ知りたいですが、市報で「伝えたい由布のもの」を掲載するのは最後となります。そこで、私たち3人と挟間町朴木地区の皆さんのご協力のもと〈伝えたい由布のもの〉を集めたほおのき秋楽祭を行いたいと思います。

由布市に住んでいても、意外と他の地域の方の取り組みなどを知らないことが多いのではないのでしょうか。私自身、由布市に移住してきてさまざまな人に出会い、さまざまな取り組みを知り、移住したての頃よりもずっと由布市のことが好きになりました。自分たちの暮らしを自分たちで作り、今まで続けてきたことをつないでいく、由布市で暮らすみなさんのたくましい姿はとてもかっこよく、私も自分自身の暮らし方を考えるようになりました。ほおのき秋楽祭では、由布市にお住まいのみなさんがいろいろな由布のものに触れて、暮らしの中に取り入れ、他の地域の方とつながりを作る場になれば嬉しいです。

出店される方は、ものづくりをされている方、今まで受け継いだ手仕事をされている方、

初めてご自身の知識や経験をお披露する方など、由布市に住んでいる期間や出店経験などはまちまちですが、皆さん由布市で活動している方たちです。由布市の中でまだほんの一部だと思えますが、まずは一歩、みなさんで由布産のものを囲んで楽しい時間を過ごせたらと思います。秋楽祭は10月を予定しており、また市報等でご案内します。ぜひ、遊びにいらしてください。そしてこの秋楽祭では自信を持って由布市の魅力をもっと外にも伝えていきたいと思っています。由布市の外からでも来て下さる方もいらつしやるかもしれませんので、その時にはみなさんから「由布市ってこんなところだよ」とぜひ伝えてください。いままでも「伝えたい由布のもの」を読んだいただき、ありがとうございました！

## ●ほおのき秋楽祭

日時：10月30日(土) 午前10時～午後4時

※少雨決行

※荒天時 11月6日(土)延期

場所：旧朴木小学校



\*ほおのき秋楽祭のInstagram  
gramを作りまし。秋楽祭開催まで更新していきますので、ぜひご覧ください。



▲ほおのき秋楽祭Instagram

引き続き地域おこし協力隊ページを更新していきます。ぜひご覧ください。



▲由布市地域おこし協力隊